

Fukui

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-03-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00053507

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



18. 福井県 追補

渡辺定路 (〒910-0003 福井市松本 4-3-25)
横井俊一 (〒918-8212 福井市北今泉 3-1-13)

(A) 植物誌

2003年7月に『増補改訂 福井植物誌』が福井新聞社から出版された。B5判、464頁で、シダ植物以上3067種類がリストアップされ、初版以後に採集した標本15,000点の産地と標本番号が追加掲載されている。今後の予定としては、武田究氏が採集した嶺南の植物1万数千点と2003年以後に採集した1万点を追加して発行が出来たらと思っている。



図 改訂増補 福井県植物誌

(B) 研究機関

福井県の研究機関としては、大学関係では現在植物自然史系の研究しているところはない。福井県には自然史を扱っている機関としては、福井県自然保護センター（大野市南六呂師）、福井県自然海浜センター（三方郡若狭町世久見18-2）、福井市自然史博物館（福井市足羽上町147）、町立福井総合植物園プラントピア（越前町朝日17-3-1）があり、各機関で研究誌を発行している。

(C) 標本庫

福井市自然史博物館（FUKUI）の収蔵標本は約62,500点に増加。町立福井総合植物園プラントピア（FUK）の収蔵標本十数万点は整理中であるが、事前に連絡があれば研究用の閲覧は可能（編集注）。

(D) レッドデータブック

前回、本誌50巻2号（2002年）において、レッドデータブック作成委員会を組織してレッドデー

タブックの作成の準備を進めていることを報告したが、2004年3月に『福井県の絶滅のおそれのある野生植物（レッドデータブック）』（福井県）として刊行をみた。その中では、希少種保全として492種をリストに掲載した。カテゴリー別選定種数は、絶滅13種、絶滅危惧Ⅰ類171種、絶滅危惧Ⅱ類130種、準絶滅危惧79種、要注意99種がリスされている。それから10年近く経過し、絶滅リスクがたかまる要因が増えている中、本年から平成26年度にかけて希少種保全へ初改訂を行うこととなった。前回は維管束植物だけを対象としていたが、今回は、新たに、蘚苔類、地衣類、菌類についても選定されている。これらのリストは公表される予定である。

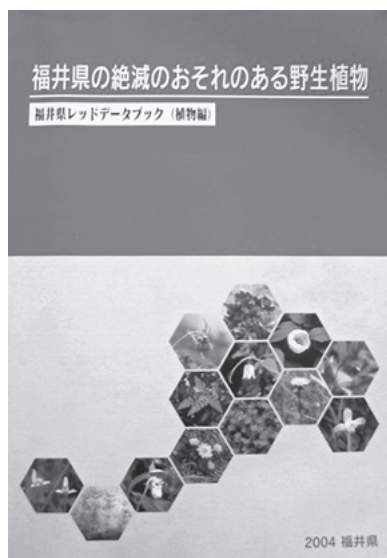


図 福井県の絶滅のおそれのある野生植物

(E) 植物群落

福井県の植物群落は『環境庁（現環境省）特定植物群落調査』（1979,1988,1998）、『福井県自然環境保全基礎調査』（1985）、『みどりのデータバンクと自然保護管理指標図』（1998）にまとめられ、その集大成として『福井県のすぐれた自然・植生編』（1999）としてまとめられている。それ以後の報告は見当たらない。